

# ふれいす東京 NEWS

Positive Living And Community Empowerment TOKYO



ふれいす東京NEWS 2021年8月号



NEWS2021年8月

## ふれいすコラム

薬物政策のあり方について——  
わが国に必要なハームリダクションとは



松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

今号では、精神科医の松本俊彦さんに、薬物政策のあり方についてコラムを書き下ろしていただきました。ぜひ、お目通しください。



この記事を読む…

## お知らせ

### 新規ボランティア募集のご案内 2021（オンライン開催）

ふれいす東京では、活動に参加できるボランティアを募集しています。丁寧な研修があるので、国籍、性別、年齢、セクシュアリティ、HIV感染の有無、経験の有無は問いません。ぜひ情報拡散と広報にご協力をお願いします。

## ■新規ボランティア説明会（オンライン）

2021年9月11日（土） 10:00～12:00（受付は9:50開始）

※上記の参加が難しい方は、個別に対応します。申し込みフォームでご連絡ください。

## ■研修日程（オンライン）

9月23日（木/祝）、9月26日（日）※ 各日10時～17時予定



## 8月29日（日）ふれいす東京 ボランティア・トーク ライブ配信のお知らせ

現役大学生のインターンが、ふれいす東京のボランティア・スタッフに、HIV/エイズに対するイメージや活動参加の動機など、若者ならではの視点でインタビューします。これからふれいす東京のボランティア活動をしてみたい、興味があるけどどんな雰囲気なのかな…と思っている方にも参考になるかもしれません。



[YouTubeふれいす東京チャンネル](#)と[Facebook](#)にてライブ配信

■2021年8月29日（日） 13:00-14:00配信予定



## 8月24日（火）～29日（日）チャリボン特別キャンペーンのお知らせ

本やDVDなどで寄付をする「チャリボン」が、累計寄付金額6億円突破を記念して、2021年8月24日（火）～29日（日）にお申し込み1件につき¥600を寄付金に上乗せするキャンペーンを実施します。読み終わった本などがありましたら、ぜひご検討ください。



ふれいす東京の2019年1月～2021年6月のチャリボン実績  
2,673冊 82,832円



## 職場でのHIV検査/啓発機会提供プログラムの参加企業募集のお知らせ

BRTA JAPAN（事務局：ふれいす東京）では、郵送検査キットを使ったHIV・梅毒の検査を通じて、社員の健康づくりの意識を高めるお手伝いをしています。啓発・検査機会提供プログラムの参加企業を募集しているので、ぜひお問い合わせください。オンラインでの実施も可能です。





## 「東京都HIV検査情報Web」情報更新のお知らせ

「東京都HIV検査情報Web」は、ふれいす東京が東京都から委託を受けて、管理運営をしています。現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの保健所による無料・匿名のHIV抗体検査が休止せざるを得ない状況になっています。

**2021年8月2日更新 都内保健所のHIV・性感染症の検査・相談の受付状況**

[東京都HIV/エイズ電話相談](#)もあります。ご利用ください。



## 「読む人権 じんけんのほん “感染症と差別”」動画のご案内

東京都人権プラザ企画展「読む人権 じんけんのほん “感染症と差別”」で、代表の生島がHIV/AIDSの書籍の選者になりました。東京都人権プラザのYouTubeチャンネルに動画がアップされましたので、ご覧ください。



寄付・応援

相談窓口

活動実績

## 活動から

### ふれいす東京「2020年度活動報告会」報告

6月20日（土）に、今年もYouTubeのライブ配信で開催されました。各部門の報告、研究部門の「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」報告などがありました。トークコーナーでは、「結婚の自由をすべ

ての人に」訴訟・北海道訴訟の加藤文晴弁護士と原告のりょうすけさん & たかしさんを迎えて、札幌判決の解説と原告の思いをお聞きしました。

当日の動画を公開しているのでぜひ視聴ください。活動報告書と活動実績のPDF版も掲載しています。



[この記事を読む…](#)

## 感想文

[「久しぶりの活動報告会の参加」かんばら  
\(医療従事者\)](#)

(抜粋) 「…直接ではなくても、活動されている方々の声を生で聞ける機会となり…」

## ネスト・プログラム 「感染症の専門家と話そう～HIV陽性者と新型コロナワクチン」報告

2021年7月14日（水）に、高田昇医師をゲストに迎えて第24回専門家と話そうを初めての試みとなるウェビナーで開催しました。参加者は28名でした。当日の動画も限定公開しています。一般の方にも役立つ内容なのでぜひご覧ください。

[ウェビナー「HIV陽性者と新型コロナワクチン」動画公開のお知らせ](#)



[この記事を読む…](#)

[「ワクチンを打つきっかけになりました。」  
ひなた（感染告知：1999年/Zoom初参加）](#)

(抜粋) 「・・・抗HIV薬を飲んでいる患者さんは、罹患しにくいから。ワクチン接種はしなくても良いのでは?・・・」

[「かなり安心しました!」ふくろう（感染告知：1999年/40代）](#)

(抜粋) 「一昨年から軽度の喘息の疾患があります。その服薬をしていて、他に高血圧予防のための服薬もしています。・・・」

[この記事を読む…](#)

[「当事者としてワクチン接種の不安・悩みを解消できました」しょう（服薬歴：2年/初参加/20代前半）](#)

(抜粋) 「地方に住む当事者として、医師から直接お話を聞くことができるとてもありがたい機会でした。・・・」

[この記事を読む…](#)

[この記事を読む…](#)

## ネスト・プログラム 「ナースと話そう」報告

2021年5月13日（木）に3名のHIVコーディネーターナースをゲストに、第23回「専門家と話そう」をオンラインで開催し、19名の陽性者と2名の専門家が参加しました。



ゲスト：

杉野祐子さん（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）

岡村美里さん（東京慈恵会医科大学附属病院 感染症科）

宮城京子さん（琉球大学病院 第一内科）



専門家と話そう第23回  
**ナースと話そう**  
2021年5月13日(木)  
19:00~21:00  
オンライン開催

申込締切 申込締切前日録音がお済みでない方—開催前日まで  
利用登録が済みの方 プログラム開始12時まで

医療機関でもっとも患者と接する機会が多い現場でもある看護師の想いを伝えます。  
「ナースと話そう」で高揚をお呼びするお話をさせていただきます。HIV感染者の多くを診察する国立国際  
医療研究センターエイズ治療・研究開発センター（AIDS）土曜診療を行っている感染症科大学  
病院。そして琉球大学病院の3病棟の外傷で専任主治医を行うコーディネーターナースをお  
知らせします。  
高揚症候群での対応のやり取りや関わり方などについてお話をします。  
後半には参加者からの質問をお受けします。質問、謝辞はいかなる形でもお待ちしております。  
なお、個別の事例については、アドバイスができない場合があります。予めご了承ください。

 [この記事を読む…](#)

## 「安心して通院できる環境の舞台裏」 Kazuya（感染告知：2013年/30代）

(抜粋)「・・・安心して通院できるのは、こうした病院の環境創りのおかげなんだ～と知りました。・・・」

 [この記事を読む…](#)

## 「杉野さん、ありがとうございました！」 Thank you for your support!（感染告知：2005年/服薬歴：7年）

(抜粋)「・・・不安な時期を支えていただいたことに深く感謝いたします。」

 [この記事を読む…](#)

## 「ナースのみなさんの想い」パピコ（感染告知年：2020年/20代）

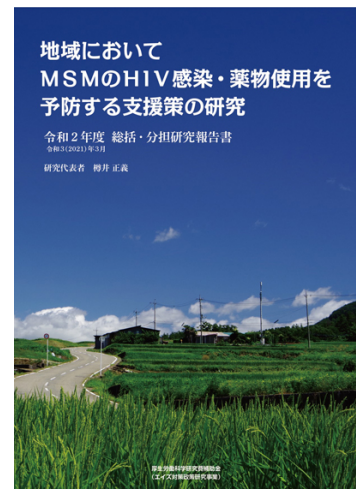
(抜粋)「・・・ナースの皆さんがどんな想いでHIV診療に携わっているのかをお聞きでき良かったです。・・・」

 [この記事を読む…](#)

## 「地域においてMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策の研究」報告書公開のお知らせ

ぶれいす東京スタッフが実施した「地域においてMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策の研究」が3か年の研究課題を終え、報告書とパンフレットを発行しました。PDF版をオンラインで公開していますので、ぜひご覧ください。

 [この記事を読む…](#)



地域において  
MSMのHIV感染・薬物使用を  
予防する支援策の研究

令和2年度 総括・分担研究報告書  
令和2(2021)年3月

研究代表者 柳井 正哉

## ILGA ASIAの緊急共同声明に賛同しました

2021年8月21日に、アフガニスタンでの女性・子ども・LGBTQの人々などの社会的弱者の人権保護を求める ILGA ASIAの緊急共同声明に、日本からの14団体（全136署名団体の10.3%）の一つとして署名しました。

## VOICE

HIVやセクシュアル・ヘルスにまつわる、さまざまな「VOICE/声」を掲載しています。

### [\[陽性者と家族の日記\]](#)

### [\[スタッフ日記\]](#)

## スタッフの声

今号は、活動報告会を手伝ってくれたスタッフとGフレ電話相談員の声をお届けします。

### [「一年、そしてまた一年」 SHIHO](#)

(抜粋)「・・・すぐ隣にいる性的少数者や、HIV/AIDSとともに生きる人を透明な存在にしないために、何度でも思い出すために、これからも可能な限り活動に携わっていきたいと思います。」

### [「Gフレ相談員として」 ひさし](#)

(抜粋)「・・・向き合ううちにクライアント自身がなにかを掴んだ様子があるときにすごくやりがいを感じます。・・・」



## 寄付・応援

ぶれいす東京の活動は、HIV陽性者たちのサポートに欠かせないものです。皆様のご協力が必要です。クレジット決済では、月々1,000円からサポートを続けることができます。

## 相談窓口

感染不安の電話相談、HIV陽性者・パートナー・家族など周囲の方、および判定保留・確認検査待ちの方のための電話相談、ゲイによるゲイのための電話相談があります。

## Living with HIV

身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

Living with HIVは、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間などの、24編の手記と、基礎知識データを取りまとめた短いコラムなどからなります。

## 活動実績

### [2021年4月-6月の活動実績を公開しました](#)

新規相談事例も更新しました。他の期の実績はエクセルの下部にあるタブをクリックしてください。

相談サービス部門 新規相談事例は[こちら](#)。



